



春の企画展

一刻も早く!

戦場からの患者搬送

入館無料

2015年 3月3日(火) — 5月31日(日)



SHOUKEI-KAN
しょうけい館
戦傷病者史料館
Historical Museum for the Wounded and Sick, Red Cross Soldiers

【会場】 しょうけい館1階 【開館時間】 10:00~17:30 (入館は17:00まで)
【休館日】 毎週月曜日(祝日は開館)、5月7日(木)

一刻も早く!

戦場からの患者搬送

戦地では、多くの兵士が傷病に倒れています。

本格的な治療を受けるまでの時間が生死を分けるのです。そのため、患者搬送手段は時代とともに変化して来ました。前線から包帯所に集結した戦傷病者は、衛生兵による初期治療が施されて部隊に戻ります。重傷者は担架卒の手によって野戦病院に後送されます。戦地から移動する手段として患者自動車（現在の救急車）や、診断や手術が出来るX線自動車、手術自動車なども開発されていました。戦地から離れた市街地の兵站病院に移動した戦傷病者は、予後の経過を見ながら再手術や、治療を継続して、長距離の移動に耐えられる体力の回復に努めます。病院船の待つ港までは、移動距離や病状によって徒歩、担架、自動貨車（トラック）、患者自動車のほか、体力や時間に余裕のない場合は病院列車、患者飛行機なども利用されていました。

これらの「一刻も早く!」高度な治療が受けられるように考案された様々な装備は、実際に運用されている数が少ないことや、第一線救護の現場まで写真報道班が進出出来なかったこと、重症患者の多くが意識を失っていて証言が得られないことなど、残された情報はごく僅かです。

本企画展では、戦地で運用された多様な患者搬送を貴重な写真資料で紹介します。時間との闘いが戦傷病者のその後にどのような影響を与えたのか、その労苦を偲んで頂きます。

●春の企画展特別講演

講師：元防衛省医官 尾立貴志氏

演題：「戦場での患者搬送」

日時：2015年5月9日（土） 10:30～11:30 / 13:30～14:30

場所：しょうけい館シアター

定員：40名（要事前予約。ホームページにて告知予定）

●展示解説 学芸員が企画展の展示解説をします。 申込不要

日時：毎月第1、3、5週の土曜 14:00より約30分程度。

当館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族等の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。



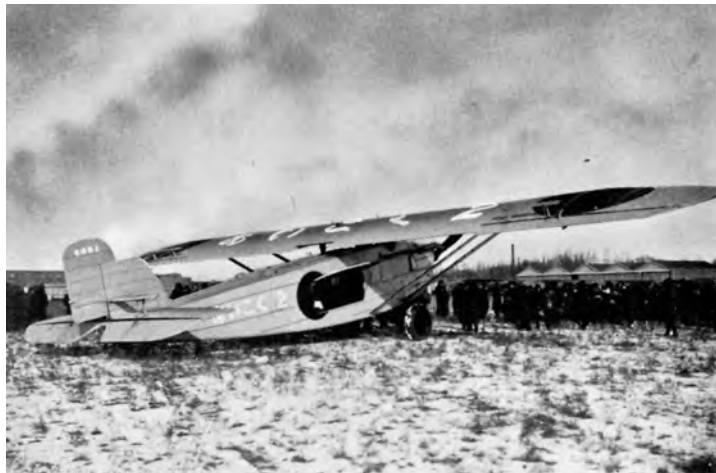
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア九段下
TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp



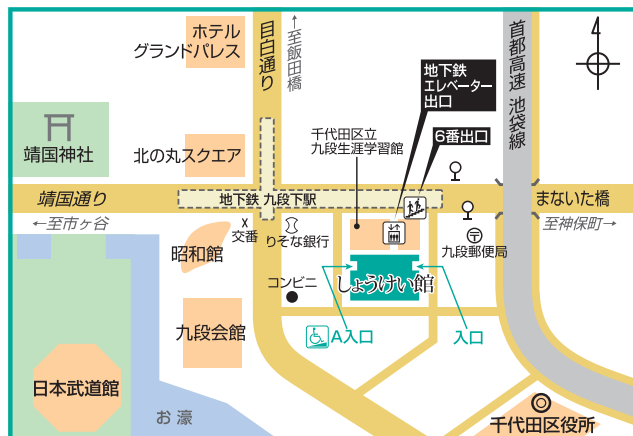
野戦病院 日露戦争時の満洲における野戦病院での治療。



患者自動車での移動



患者飛行機（愛国2号） 満洲事変で活躍した患者飛行機。



●地下鉄をご利用の場合

「九段下」駅6番出口から徒歩1分（東西線、半蔵門線、都営新宿線）

●都営バスをご利用の場合

「九段下」停留所から徒歩1分（高71系統（九段下～高田馬場駅））

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

